

## 「いいな、いいな、人間っていいな・・・」(生物多様性を考える童話)

配役 伸び太君、ベベ子ちゃん、大クマ、小クマ(人間以外の生物代表)

- (大クマ、小クマ) いいな、いいな、伸び太君達(人間)っていいな・・・。
- (伸び太) なんで?? いつも勉強しろ、勉強しろって言われていやになっちゃうよ!!
- (大クマ) どんなに暑くても涼しい家でゆっくり眠れるし、大雨が降っても流さることもないし・・・、ご飯だってお腹一杯食べられるんだろ。 いいな!
- (伸び太) 君たちだって、山に帰ればおうちがあるじゃないの。食べ物だって沢山・・・。
- (小クマ) ううん! 人間が森に入り木を切ったので、「どんぐり」も「あけび」もなくなったの・・・。
- (ベベ子) えーっ・・・?? じゃー、あまり食べてないの? 可哀そうね。
- (小クマ) 畑や道路やダムを一杯作るもんだから・・・、ほら穴も隠れがもなくなったんだよ。
- (伸び太) それでなの・・・、昨日もTVでクマが出没したって言ってたよ!!
- (ベベ子) パパはね、「あいつは人間の食べ物を横取りする悪いクマだ」って言ってたよ!!
- (小クマ) 違うよ! クマおじさんはね、僕達のために食べ物を探しに行っただけだよ。
- (伸び太) でも、なんで街に出たりするの・・・、山に行けばいいのに!!
- (小クマ) 道路で囲まれているので、あっちの山に行くためには街を横切らないと行けないんだ・・・。
- (伸び太) へー・・・、君たちは食べ物も済むところも無いの? 大変なんだね。
- (大クマ) クマおじさんはいつも言ってたよ、「人間だってもうすぐ食べ物がなくなるよ」って。
- (ベベ子) えーっ・・・?? どうしてなの・・・?? わかんないなー??
- (大クマ) 人間はね、俺達よりちょっとばかり頭はいいけど、「同じ動物だから」だって。暑さや大雨で、食べ物があまり取れなくなっていることって知ってる?
- (ベベ子) そう言えば、ママがレタスもキャベツも大根も高くなって買えないって言ってたよ。
- (伸び太) そうなんだ。僕は嫌いだからよかったけど、ちっとも知らなかった。
- (大クマ) だから、伸び太君もベベ子ちゃんも、力貸してくれない? 一緒に考えてよ?
- (伸び太) うん、で、どうすればいいの?? 何をしたらいいの?
- (大クマ) 僕達が大変な目にあっていることをみんなに話してほしいの、パパやママに。友達にも。僕たちクマも、かえるも、鳥も、どんぐり・・・だって生きる権利があることを・・・。そして、今やっついていかないと、人間の暮らしも大変になってくることを・・・。
- (伸び太) でも、パパは建設工事をしており、道路やダムを作ってるよ。君たちには悪いけど仕事なくなるんじゃないの?
- (大クマ) 人間も、生き物もが安心してすごせる日本を作る仕事は大変だよ。自然を、地球をとりもどす仕事は一杯あるよ!! パパもこれからもっと忙しくなるよ!!
- (ベベ子) うん。わかったわ。私おしゃべりだから、学校でみんなに話そーっと!!
- (伸び太) 僕はね、大きくなったら、君たちの事を一番に考えるよ。だって君たちも僕達もそして「どんぐり」だっておんなじ生き物だって初めてわかったもん。パパには、もっと生き物や自然を大事にする仕事をするようにお話ししとくよ。

.....

(みんな) いいな、いいな、何でもできるから人間っていいな! 生き物っていいな!!

伸び太君やベベ子ちゃん達が大きくなる頃は、  
きっと人間も動物も植物も生き物全てが住みやすい地球を築けることでしょう!!